



第1号議案

令和4年度 事業報告

1. 社会福祉法人 童心会（本部）

1) 童心会の経営理念

童心会は今、社会資本の一つとして「地域の子ども家庭支援」の大切な役割を担っている。そこで、私たちは郷土に受け継がれてきた「気候、風土、文化、歴史、宗教」を見つめながら、この21世紀の社会の変化を先見し“生活や福祉”をデザインし、時代の変化に対応しうる理念「尽・還・実・育」を持つ法人として「利用者の最善の利益の実現」に向けて、公的役割を遂行しなければならない。

2) 童心会の事業目的(全保育所 共通)

児童福祉法に基づき何らかの理由で、保育を必要とする乳児・幼児を対象に保育することを目的とした児童福祉施設である。

子どもたちの心は“人間性豊かなより多くの人たち”との毎日の生活の中で「ふれあいと見守り、抱きしめ言葉」を通して「思いやり と 生きる力」が育てられるものであり、保育所は子どもたちが最も良く生き、望ましい未来を作り出す力の基礎を培うために、時代の変化に対応した保育を創造し、実践する必要がある。よって、子どもたち一人ひとりが、人格を持った人間としてお互いが認められ“生まれてから死を迎えられるまでの一生”を人間教育の場として捉え「人間として如何に生きるべきか」を学ぶための原体験を創ることを目的としている。

保育園の役割(利用者の最善の利益の実現)

1. 子どもの愛された育ちの保障（パーソナル・ケア）
2. 保護者や地域の子ども家庭支援（ファミリーケア・ワーク）
3. 保育ソーシャル・ワーク(保健・福祉・医療・教育・子育て支援との協働)
4. メンタルヘルス・ケア(心身の健康ケア)
5. 保育所から始める地域コミュニティ創り（村づくり・街づくり）
6. 子ども家庭の多様性と包括支援(diversity and inclusion support)
7. 保・幼・小の接続(重要課題・架け橋プログラム)
8. 新しい子育て文化の創造(育児体験学習、未来の親づくり)

3) 童心会の活動内容

① 理事長講演及び執筆活動

今年度も新型コロナウイルス感染症により、毎年実施された団体からの講演会は中止。よって、令和4年度の講演活動はなく、内部の「法人だより」や「内部研修」にむけた執筆活動を強化した。

② 法人体制

i 理事長職の集中体制

令和4年度の理事長研修も、ZOOM 会議も活用し各保育園、園長会、主任会、その他部会のリーダー会を中心に研修会を実施した。リーダー会は、今年度も看護師の「保育所保健部会」を積極的に研修され、看護師における保育園内の役割を強化し医療の観点から重要性を唱えた。今年度も目的意識を高め明確なテーマをもって開催し、組織化と人材育成の強化が計れた。

研修名	年間講義数
各保育園(全職員対象)	10 回
園長会	12 回
主任会	12 回
各部会リーダー会 (献立会、保育所保健部会、リーダー研修など)	24 回
合計	58 回開催

ii 法人本部主体の推進事業

- ・『ICT 推進①』として、令和3年度は園児管理、ZOOM 会議の導入、SNS の積極的活用、全園電子決済の導入など推進し、今年度は職員の勤怠システムを労働基準とマッチングできる楽楽勤怠を導入。将来的に、あらゆる保育の自由を見据えて「柔軟に対応できる働き方対応」、「有休消化管理の徹底」、「福利厚生電子申請」などシステム化を強化し業務効率化を推進した。
- ・『ICT 推進②』として、童心会ブランドを強化するため、まずはホームページリニューアルし、各園のアピール動画を製作。保育方針にあった動画で新入园児の入所を促す。
- ・『施設修繕』として、東京企画と建物保守契約を締結し柏さかさい保育園の南棟修繕(パッキング、壁&屋根補修)、柏中央保育園の壁と防水修繕を完了
- ・『法人(保育園)の充実化推進』として、WELL—B チームを発足し、日々の保育や勤怠、そして業務における満足度を向上するため全職員にアンケート実施。
- ・『新中長期計画』として、新たに三本柱を設けた。
園児・保護者・職員から「選ばれる保育園」を目標に、少子化の中

保育市場を調査し持続的可能な保育事業の拡大。つまり、インクルーシブな保育を実現するための事業拡大(児童発達支援、医療ケア、伴走型支援など付加価値事業を検討し、その延長上に「童心会の森」を設置することで切れ目のない保育を計画中)を推進。組織強化の改編としては、保育の専門性及び組織の業務効率と成果を向上するため保育アドバイザーを設置。令和5年度より各ポジションの役割や保育園ごとの保育の意味をアドバイスしながら組織を強化推進。

人材育成においては、新採用職員の研修強化。その他、保育アドバイザーを中心に日々の保育を理解し、保育方針のズレを解消させ人材育成を強化する。

③ 新型コロナウイルスの影響と採用

i 令和4年度においても、新型コロナウイルス感染症の影響により、感染有無関係なく年度はじめてから臨時休園となり職員・園児・保護者へのメンタルヘルス・ケアに努めた。令和5年3月には新型コロナウイルス感染症の他にインフルエンザの影響もあったが、感染症による園児の退園や職員の退職影響はなかった。

ii 人材確保

コロナ禍の中、人材確保は大学への訪問や就職活動において令和4年度も制限があり活動数ほぼできなかった。令和4年度の主な採用活動は、ホームページからの採用広告、柏市合同就職説明会への参加、ZOOM面談、人材紹介、派遣職員を含め、最終的に職員20名(保育士16名、看護師2名、栄養士2名)を採用。令和5年4月1日は法人全体175名が所属することができた(派遣保育士含む)。なお、保育士における配置数は、法人全体で公定価格上の必要配置数の約1.3倍となった。

柏さかさい保育園と柏しんとみ保育園においては1.5倍であり、必要に応じて姉妹園へのヘルプ体制(一時的な出向)も可能となり、人材不足は発生せず、今後どの園も1.5倍を目標に採用を進める。看護師は各園に1名は所属し柏さかさい保育園と牛久みらい保育園においては各2名を配置。法人全体で7名が勤務され園児の体調不良時や怪我発生時など、保育士の負担が軽減されている。

2. わくわくアートタイム(全園展開事業)

■ 活動目標

保育園での最終学年となるさくらぐみの活動の中で、絵画やかきかたを通して、表現力・想像力・思考力を伸ばしていけるようにするとともに、就学に向けて学習の基礎づくりができるようにする。

○絵画 … 様々な用紙や画材を使用したり五感を使う活動を通して、表現の楽しさを経験し、新たな気づきや発想を広げていけるようにする。

○かきかた… 鉛筆で書くことに慣れ文字を書くことを楽しみ、書く意欲を高めていけるようにする。

■ 内容

月に2回、主に午睡をしなくなった午後の時間を活用して、1回1時間程度の活動をおこなった。

○ 絵画 … 観察画・想像画・デザイン画

○ かきかた… 線の練習・迷路・点つなぎ・間違い探し・

ひらがなクイズ・ひらがなの練習・習字(後半1回)ほか

	絵 画	か き か た
4月	お友達の顔(観察画)	名前、いろいろな線、迷路
5月	大根の観察画	ひらがな①、○△うつし書き
6月	バブルアート	ひらがな②、グリッド点つなぎ
7月	パイナップルの観察画	ひらがな③、数字点つなぎ
8月	海の中(透明シート使用)	ひらがな④、数字点つなぎ、グリッド
9月	砂絵	ひらがな⑤、数字点つなぎ、グリッド
10月	〇〇〇から想像して描いてみよう	ひらがな⑥、まちがいさがし
11月	等身大の自画像	ひらがな⑦、ひらがな点つなぎ
12月	物語の絵「かさじぞう」(墨と筆)	ひらがな⑧、なくなったものさがし
1月		書き初め、ひらがな⑨、ひらがなしりとり
2月	スペシャルアート (各園担当の先生が主になる活動)	ひらがな②、グリッド点つなぎ
3月	リクエストアート	

■ 活動を振り返って

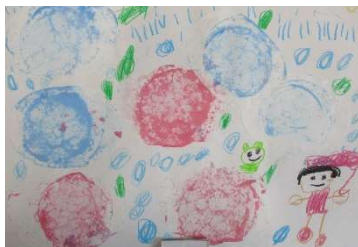
- ・ 活動5年目、担当の先生と年度初めに打ち合わせをして活動内容やねらい等を伝えたり、ナレτζで毎月の活動予定等を発信するなど、より情報共有をしながら進めることができた。また、活動後に担任に子ども達の様子を伝えることで、双方にとって指導の参考になる情報を得ることができた。
- ・ 担当の先生が主となって進める活動を、かきかたで1回、絵画スペシャルアートで1回お

願いました。経験することでわくわくアートをより理解して、積極的に活動を考えていただくことができた。

- ・今年度初めての取り組みとして、「等身大の自画像」をおこなった。大きな紙に自分の姿を写し取り絵の具で仕上げるというダイナミックな活動、個性豊かな作品となり大きな絵筆で色を塗る等新たな表現を楽しむことができた。

今まで、絵の具を使った活動をわくわくアートではおこなっていなかったが、経験不足を感じたので、次年度は段階を追ってできるように計画したい。

- ・5年前にわくわくアートを始めた時は、午後の時間眠くなってウトウトする子も各園にいて、書く力の個人差も今以上に大きかった。鉛筆で書くこと、色鉛筆を使うこと、クレヨンだけでなく様々な用具を使った表現により、得意なことを見つけたり書く力(描く力)に自信を持つなど成果が出ていると感じる。今後も就学に期待を持ち、学習に興味・関心・意欲を持てるように考えていきたい。



シャボン玉アート



〇〇〇からかいてみよう



かさじぞう



等身大の自画像



調理の先生による
スペシャルアート
野菜スタンプ
「ありがとうの花束」



かきぞめ

※ 資料添付

「わくわくアート通信」を保護者向けに年3回発行しています。
令和5. 3月発行の通信を添付いたします。

さくらわくわくアート通信 3月号

もうすぐ保育園を巣立っていくさくらさん、この1年間の成長には目を見張るものがありました。絵の表現、かきかたプリントの文字、数字等の書く力はもとより、活動時の態度、言葉遣い、やる気等々「さすがさくらさん!」と感心しています。子ども達の様々な可能性に、たくさんの感動をもらいました。個々の個性を活かし、それぞれの彩のある花を咲かせてくれることを楽しみにしています。ありがとうございました。

絵画

《活動の様子》

◆物語の絵「かさじぞう」

素話を聞いて想像した場面を、墨と筆を使って描きました。昔話の中にある「やさしさ」や「ありがとう」が伝わる作品が素敵です。



◆スペシャルアート

早坂先生による「ホイップアート」



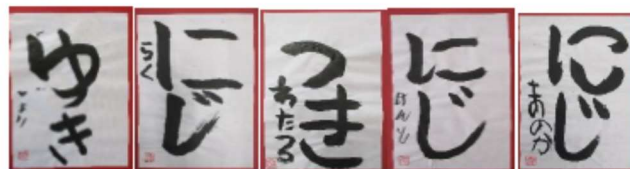
シェービングフォームと洗濯糊を混ぜてホイップをつくり、ゆきだるま、ゆきうさぎ、かまくらなどイメージを膨らませて表現しました。乾いた後のふわふわした感触が雪の表現にぴったりで、かわいい作品が出来上がりました。

かきかた

《活動の様子》

◆「かきぞめ」

書き直しができない緊張感をもって、真剣な表情で書いていました。



書く文字は各クラスで話し合っ、さくらぐみの思い出と関係のある文字を選んでくれました。

◆かきかたプリント 「濁点のつく文字」ほか

毎月少しづつ練習してきたひらがな50音を、ひと通り終えました。



ちょっと一言

物語の絵「かさじぞう」

素話を聞いて想像した場面を墨と筆を使って描きました。とメッセージがありました。柏中央保育園のさくら組さんたちが、「かさじぞう」の中に自分たちが学んできた人としての生き方が素直に表現されていることに感動しました。

「やさしさをありがとう」という言葉を私は一生忘れません!!

理事長 中山 勲

わくわくアートの最終回は、ひまわり組が見学に来てくれました。4月からどんなことをやるのか、ドキドキ緊張しながら見ているひまわりさん、さくらさんはいつも以上にお手本になろうと立派な態度で挨拶し、お話を聞いていました。見学の最後には「みせてくれてありがとうございました」「どういたしまして」の挨拶。どちらも挨拶名人です。見て学び伝え合い、育ち合っている素敵な場面でした。そんな素敵なさくらさん、みんなみんなげんきでね!がんばれ!いちねんせい!!

3. わくわくタイム(全園展開事業)

■ わくわくタイムの概要

5歳児(さくら組)を対象に、午睡しなくなった時間に園バスで徒歩圏内では行けない公園や公共施設の社会資源を活用し園外活動をする。



【柏中央保育園】

中原ふれあい防災公園にて広場あそび
葉っぱを空に舞い上げて
「見てー！花火だよー！」



【牛久みらい保育園】

霞ヶ浦総合公園にて45メートルの長いローラー滑り
「みんなですべることができたよ！」



【柏 ECEC 保育園】

柏リフレッシュ公園にてダンボールすべり
弾んだ声で
「最初よりじょうずに滑れるようになったよ！」

令和4年度年間実施表

園名	柏さかさい保育園		柏中央保育園		牛久みらい保育園		柏しんとみ保育園		柏ECEC保育園		月合計
月	日	場所	日	場所	日	場所	日	場所	日	場所	
R4. 4月	25日	増尾城址公園	4日	みんなの広場	13日	洞峰公園	8日	やまびこ公園	15日	満点の湯	7
					27日	みんなの広場	22日	あけぼの山農業公園			
5月	9日	みんなの広場			11日	霞ヶ浦総合公園	13日	みんなの広場	6日	やまびこ公園	7
	23日	柏ふるさと公園			25日	洞峰公園			20日	増尾城址公園	
6月	13日	柏ふるさと公園	6日	みんなの広場	8日	みんなの広場			17日	柏ふるさと公園	7
	30日	みんなの広場	20日	柏ふるさと公園	22日	キッズUSランド					
7月	25日	みんなの広場	4日	みんなの広場	13日	みんなの広場	22日	みんなの広場	1日	童心会カフェセンター	8
	29日	みんなの広場			27日	みんなの広場			15日	童心会カフェセンター	
8月	8日	みんなの広場	1日	みんなの広場	24日	みんなの広場	26日	みんなの広場	5日	さくら組のおへや	7
	22日	みんなの広場							19日	童心会カフェセンター	
9月	12日	中原ふれあい防災公園	5日	柏の葉公園	14日	乙戸沼公園	9日	柏の葉公園	2日	中央体育館の幼児体育室	7
	26日	柏西口第一公園							16日	あけぼの山農業公園	
10月	20日	中原ふれあい防災公園					14日	満点の湯	7日	満点の湯	3
11月	14日	手賀沼ファーム	7日	中原ふれあい防災公園			11日	中原ふれあい防災公園	18日	中原ふれあい防災公園	4
12月							23日	みんなの広場			1
R5. 1月	23日	中原ふれあい防災公園	16日	満点の湯	18日	洞峰公園	13日	柏リフレッシュ公園	6日	柏リフレッシュ公園	7
							27日	やまびこ公園	20日	柏リフレッシュ公園	
2月	13日	中央体育館の幼児体育室	6日	柏リフレッシュ公園	1日	洞峰公園	10日	みんなの広場	3日	柏リフレッシュ公園	10
	27日	手賀沼公園	20日	手賀沼公園	8日	霞ヶ浦総合公園	24日	手賀沼公園	17日	手賀沼公園	
3月	13日	みんなの広場	10日	やまびこ公園	8日	牛久運動公園	24日	中原ふれあい防災公園	3日	手賀沼公園	10
	27日	中原ふれあい防災公園	20日	中原ふれあい防災公園	29日	乙戸沼公園	28日	柏の葉公園	17日	増尾城址公園	
年間合計	18		12		15		15		18		78

※ 年間活動回数 78 回

ねらい・目的

●五感を刺激する活動

- ・ 四季を通じて自然豊かな季節を感じられる公園で、草木や花、木の実などの自然と戯れ（視覚・嗅覚・触覚）、体と心を満足させることで情緒の安定に繋がる活動とする。
- ・ 主体的な遊びを通して集中力を養うことができる。手足の指先まで集中することで体を理解し、全身を使った動きを楽しむことができる。遊びを通して人との関わり、自分で課題を作り主体性を伸ばす。
- ・ 園児の頑張りを見守り、応援する（受容する）ことで、踏ん張りや諦めない心、立ち向かう心である“がんばること・つづけること・がまんすること”の楽しさや強さを園児自身で見つけることができる。（主体性＝自分の意思・やりたいと思う気持ちから行動すること）
- ・ 公園や施設を利用させて頂くことの感謝の気持ちを込めてご挨拶をすることができる
- ・

活動について

- ・ 各園/月 2 回とする。バスで片道 30 分圏内までを活動場所とし、約 1 時間前後を活動時間とする。
- ・ 五感を刺激し脳を活性化する「人環境、室内環境、外/四季環境、社会資源環境」を利用する。
- ・ 行事と重複した場合は行事を優先する。

●新型コロナウイルスの対応について

- ・ 園内で感染者が増えた時は活動を控えた。
- ・ まん延防止重点措置期間は県外への移動を控えたため、牛久みらい保育園での活動は中止となった。

●バスでの移動について

- ・ マスクを着用する。
- ・ 窓は前後左右の四カ所を開けて換気をする。
- ・ コロナ対策は、昨年度末にバス内の抗菌処理を行った。車内はアルコール拭きから水拭きに変更。

活動内容

ドッジボール / チューリップ・ビオラ観賞 / 芝滑り / 斜面あそび / アスレチック /
サッカー / マラソン / 複合遊具遊び / 自然の物遊び / 足湯

活動場所

園内(みんなの広場) / リフレッシュプラザ柏 / 柏リフレッシュ公園 / 柏ふるさと公園
中原ふれあい防災公園 / 乙戸沼公園 / やまびこ公園 / 柏の葉公園 / 上町公園 / 満点の湯

活動を振り返って

昨年度に引き続き、コロナ感染や対策の期間がありましたが、前年度に比べて活動は増え、5つの園で計78回行われました。子どもたちが経験から学ぶ利益を考え、「記憶に残る活動」となるように努めました。また、昨年度まで雨天時の活動は室内のみでしたが、満天の湯様のご協力により、足湯を体験することができるようになったことで活動の幅が広がりました。

期待 園バスが到着する前に担任の先生がわくわくタイムの活動について期待を持たせて下さっていました。バスが到着すると子ども達はわくわくした様子で元気に挨拶をしてくれます。

挨拶 バスに乗るときに一人ひとりが「公園までよろしくお願いします！」などのご挨拶や、運転者の私に「よろしくお願いします」、降りるときにも目を見て「運転してくれてありがとう」などお礼の言葉を伝えてくれます。公園へ「よろしくお願いします。」帰るときの「ありがとうございました。」のご挨拶。気持ちを伝えることが習慣となり、相手の気持ちを思いやり、感謝とやさしい心が育っていることが分かります。

お約束 バスの中では、バスでのお約束(立ち上がらない・大きな声を出さない・窓を開けない)を守りながら公共性を継続的に学び、移動時間を楽しく過ごしました。

時間の有効活用 わくわくタイムの活動時間は1時間前後。お話を聞く姿勢がとれないと遊ぶ時間がなくなるため、今何をする時間なのかという意識をもって楽しい時間を大切にできるようになっていました。

非認知能力 子ども達の遊びを見て、“成功体験”も大切ですが、その過程にある失敗を恐れず楽しめる“失敗上手”になれることが成功のプロセスで最も大切であると学びました。また、そのことが理事長の研修に何度も出てくる**がんばること・つづけること・がまんすること**の意味を通して、非認知能力(継続していく力)を育てながら生きる力になっていくことを意識して活動しました少し難しい遊びでも繰り返す事で“ひとりでできた”仲間の見守りや応援があつて“みんなとできた”困っている人に寄りそって思いやりをもって“ひとのためにできた”の体験が環境とたくさん遊びを通して経験することができました。

環境活用 各園によって、環境の違いはありますが、全園に共通していることは園児達が遊びの中で喜びや楽しさを共有する姿が毎回見られるということ。環境(室内環境/人環境/外環境・四季環境/社会資源の活用)を活用し、人との関わりから“楽しい”を共有することで仲間意識や思いやり(感情や心)が育ちました。

主体性を伸ばす 声かけは肯定的に。自分達で選択をし、園児達が遊びを作れるような環境作りをしていくようにルールを多く設けず、自分たちで遊びを作ることができる(主体性を伸ばす)。
肯定的な声かけを心がけは“これでいいんだ”と思う様子で嬉しそうにしていました。私たちはその手助けや気づきから、それを繋ぐ役目だと思っています。
たくさんの素晴らしい経験を通して、自分の価値を自分で肯定的に高める。自尊心を高めていくことにも繋がる活動になっていると感じました。

4. 柏さかさい保育園

1) 事業内容(KS)

① 保育所の運営、 ②地域子育て支援拠点事業、 ③一時預かり事業他、
保育事業として延長保育促進事業を実施する。

- ・ 開園して 13 年となるなかで、「思いやりと生きる力」を基本に興味・関心・好奇心・意欲・意志を育ててきました。
新型コロナウイルス感染症まん延により休園や特別保育の実施など経験したことのない保育の提供もあったが、法人・園が一体となり「この環境でもできるやり方」を模索し、保護者や子ども達との繋がりを途絶えさせることなく新しい取り組みを行いました。
保護者の理解や協力を得て、法人が大切にしている行事や保育活動を行うことができました。
- ・ 制限のある保育活動を強いられるなかでも、幼児組は日々の活動に課題を見つけチャレンジする意欲が育つと共に、なるべく多くの経験、体験をさせようと、かたちを変えながらも園行事を行う事により「自分でできる、みんなとできる、人のために出来る、助け合ってできる」を経験し、一つひとつ子どもたちが話し合い、認め合い助け合いながら自分たちで作り上げ多くの「がんばること、つづけること、がまんすること」と「やれば出来る！」を実体験した。乳児組は各クラスでじっくり活動することで、30 分間の朝会にリーダーとなり楽しんで参加し、自尊感情、非認知能力を育てて来ました。法人職員による音楽リズム、絵画、文字、課外活動の経験により、体験を共有することで心を育て、知識を獲得することで自信をもち就学に繋げることが出来ました。
- ・ お泊り保育はコロナ禍ではあったが、中止にすることなく、安全対策をしっかり行い3, 4歳児は夕涼み会として園内で20時まで友達と過ごし、5歳児はお泊り保育の目標のもと「今できる事」をみんなで考え、園内泊のお泊り保育を実施した。運動会、クリスマス生活発表会は乳幼児を別開催にするなど新しい試みの中に、新しい発見や良さを見出すことが出来た。
- ・ 特別な支援が必要とされるお子さんや集団での生活が苦手なお子さんに対して、地域保健福祉課、ウェルネス発達支援センター、北総病院のかざぐるまなどの行政と連携を取り適切な支援を行い小学校との接続もスムーズに行う事が出来ました。
- ・ 夏まつりは保護者会本部役員さんにお手伝いを頂き、多くの子どもたちとの触れ合いに大人も子どもも季節を感じる行事が出来ました。おやじの会の保

護者からはプールの設置、駐車場の砂利整備など協力をいただきました。

- ・ 感染症対策のため地域との異年齢交流や姉妹園との交流、自園の異年齢児交流保育は行えませんでした。2・3・4・5歳児の公園里親ボランティアで公園のトイレ掃除や地域の清掃活動、園内のお手伝い活動も今年度は中止となり人のためになる喜びを感じる経験が少なかったため、5歳児は朝やお昼の放送を行ったり、人数確認の為各クラスを周り、役割を務めることに對して「ありがとう」を言ってもらえる経験や成功体験・失敗体験を経験することが出来ました。
- ・ 子育て支援まことちゃんは検温、消毒など感染対策をしっかり行い予約制にして開放した。安全な場所を求め地域の親子連れが積極的に利用していた。人との交流を避けられているからこそ必要な場となり利用者の育児に対する悩みを聞いたり、こちらからメールで近況を伺ったりして、「一人ではない」ことを感じてもらえるように繋がりを意識し活動しました。
- ・ 園活動においては保護者会本部役員、おやじの会の保護者からの協力をいただきました。
- ・ 保育士養成校 9校 16名、慈恵柏看護専門学校11名の受け入れをし、地域の子育て支援について伝えることが出来、地域貢献できました。
- ・ 近隣の中学校の職場体験は中止となったが、柏陵高校2、3年生のインターシップは11名を受け入れ、近隣の小学校とは交流会の参加や、手作りおもちゃをもらいビデオで遊んでいる映像をお返ししたいする方法を用いて大変有意義な交流が出来ました。

2) 児童の在籍状況(KS)

区 分	月 初 日 在 籍 児 童 数				
	乳 児	1 歳～2 歳児	3 歳児	4 歳以上児	計
4 月	17	47	24	49	137
5 月	21	47	24	49	141
6 月	21	47	24	49	141
7 月	23	48	24	49	144
8 月	24	48	24	49	145
9 月	24	48	24	49	145
10 月	24	48	24	49	145
11 月	24	48	24	49	145
12 月	24	48	24	49	145
1 月	24	48	23	49	144
2 月	24	48	23	49	144
3 月	24	48	23	49	144
計	274	573	285	588	1720

3) 保育園の保守管理(KS)

当園は、定期的な清掃及び修繕点検を実施し、園舎外壁の洗浄・塗装や、門扉の改装を行いました。

また、保育室の遊具・器具(椅子やテーブル等)等の破損は事故防止のため迅速且つ周期的に点検し必要であれば修繕する体制である。

保育室は、病気・感染症等が誘発させないよう室内の消毒はもちろんのこと空気清浄機、サーキュレーター、アルコールを設置すると共に清潔を維持している。

4) 消防・地震計画(KS)

園内における防火管理の徹底と災害による人的、物理被害を最小限に防ぐため毎月1回の避難訓練を実施している。

訓練事項	訓練時期	備 考
非常災害訓練	月 1 回	時間外(朝と夕方)訓練 各 1 回実施 午睡時の訓練 竜巻発生時の訓練 抜き打ち訓練

		防犯訓練
引渡し訓練(地震)	年 1 回	
消火訓練	年 1 回	※職員参加
防火装置の検査	年 2 回	消防署へ連絡
その他	年 1 回	※119 番通報訓練 職員 AED, 心肺蘇生講習 職員 エピペン指導 職員 嘔吐処理 職員

※印はコロナ禍の為実施せず

5) 保健衛生(KS)

病気、怪我、感染症等にかからないように予防処置と室内清掃に関して職員一同意識向上させている。

新型コロナウイルス感染症防止策として園児、職員の健康観察や行政からの情報提供に努め、感染対策を徹底した。

園児： 嘱託内科医による内科健診(年 2 回)。嘱託歯科医による歯科検診(年1回) 身体測定(月1回) 尿検査(年1回)の実施。視力検査の実施。歯磨きや手洗いなどの衛生指導。

急な発熱等の体調不良児の対応。ケガした場合の病院受診。

職員： 健康診断(年1回)。腸内細菌検査(毎月)。感染症対策、消毒の仕方、換気の仕方について職員研修を実施。また、コロナワクチンの積極的な接種を実施(聖徳大学からワクチン接種の協力により全職員接種)。

保護者: ほけんだよりの発行(月1回)。各予防接種の確認

6) 各種行事の実施状況(KS)

行事は下記の表のように童心会の特徴である四季のまつりを始め園児・保護者・地域を対象に毎月開催されている。今年度は新型コロナウイルス感染症対策の為、形を変えたり縮小して行う行事もあった。

太字は開催できず。

※ 誕生会(園児とさくら組保護者のみ)、映画会、身体測定、毎月実施

※ 実習生は随時受入(令和4年度は16名を受入れ)

本年度は 昭和学院短期大学 1名、

道灌山学園保育福祉専門学校 2 名、東京こども専門学校 3 名

江戸川大学おおたかの森 2名、東京教育専門学校 2名

東京家政大学 2名、東京家政短期大学 2名、
千葉女子専門学校 1名、帝京科学大学 1名

実施月	行事名
4 月	・進級式・入園式・春まつり
5 月	・バス遠足・こどもの日のつどい・4, 5歳児 尿検査・歯科検診・公園里親ボランティア
6 月	・個人面談・内科検診 ・さくら組 お泊り保育・公園里親ボランティア
7 月	・視力検査(5 歳児)・七夕の集い・ひまわり組 夕涼み会 ・プール開き
8 月	・夏まつり
9 月	・視力検査(4 歳児)・引渡し訓練 ・プール納め・公園里親ボランティア ・たんぽぽ組 夕涼み会 ・ふれあいパーティー(園児から祖父母への手紙に変更)
10 月	・幼児組運動会・交通安全教室・秋の鑑賞会 ・ハロウィン・逆井小学校街発見
11 月	・乳児組運動会・5歳児 10km ウォーク ・バス遠足幼児組芋掘り ・バス遠足1歳児組、2歳児組・南部中学校 職場体験 ・カスミ食育体験 ・5歳児 逆井小学校1年生との交流 ・柏陵高等学校 インターシップ ・5歳児 土南部小学校交流(ビデオにて)
12 月	・クリスマス生活発表会2日間に分かれひとクラスずつ ・内科健診
1 月	・マラソン記録会(1回目)
2 月	・マラソン記録会(2回目) ・冬まつり ・柏中央保育園、牛久みらい保育園、柏しんとみ保育園、柏ECEC 保育園交流会(4歳～5 歳児 マラソン交流会) ・節分豆まき集会 ・視力検査 3歳児 ・公園里親ボランティア 5歳児
3 月	・5歳児 妙蓮寺探検・お弁当屋さん・ひなまつり集会 ・おにいさんおねえさんありがとうの会 ・卒園遠足 ・卒園式

7) 職員の充足状況(KS)

① 定員120名 弾力運営 145名

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
定員	20名	20名	20名	20名	20名	20名

② 職員の配置基準とその配置

◇ 職員配置基準

区分	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児
配置 対比	3:1	6:1	20:1	30:1

※ 園児 : 職員

◇ 国の示す職員配置基準

区分	園長	保育士	調理員	合計
配置数	1名	22名	3名	26名

② 現員(令和5年4月1日現在)

区分	園長	主任 保育士	保育士	短時間 保育士	看護師	事務員
配置	1名	1名	26名	2名	2名	1名
区分	みなし	サポーター	栄養士	調理員	全職員46名	
配置	5名	2名	1名	5名		

※ 理事長(スーパーバイザー)は別途カウントなし

※ みなし=子育て支援員

5. 柏中央保育園

1) 事業内容(KC)

① 保育所運営、②地域子育て支援拠点事業、③一時預かり事業
他、保育事業として延長保育促進事業も実施する。

駅近ということもあり、都内で就労する保護者も多く、19 時以降延長保育を利用する園児は平均 20 名になる。

- ・ 特別な支援が必要な子への対応について、令和4年年度は6名(多動傾向、自閉症傾向、軽度の遅れ)に対して、それぞれ補助職員が入り保育を行う。共に暮らすことにより、相手への思いやりの心も育まれ微笑ましい場面が多く見られる。
- ・ 里親活動
園外での活動が殆どのため、使用している一部の公園の里親活動を行う。「あたりまえ」ではなく、「ありがとう」の感謝の気持ちを大事に出来る子に育つよう公園の清掃活動を定期的に行う。
- ・ 基本的生活習慣を大事に、衣服の着脱、トイレトレーニング、食事のお約束、フォークや箸の持ち方、お友達、人との関わりなど、生きるために必要なことを、保育園という小さな社会の中で学び、たくさんの刺激ある暮らしの中で、
『ひとりでもできる みんなでもできる 人のためにできる』
ことを増やしていく。
- ・ 本園は、社会資源を活用し園外活動に力を入れている。散歩、買い物、見学など、目的をもって充実した時間を持てるよう計画的に行う。園バスを利用した活動もあり、いろいろな経験体験の中で、『イキイキ・ワクワク・ハラハラ・ドキドキ』を感じられるような時間が持てるよう推進している。
- ・ 暮らしの中で、たくさんのスペシャリストに協力していただきながらたくさんの刺激ある活動を取り入れている。
【わくわくアート】【わくわくタイム】【幼児体育】【音楽リズム遊び】専門の先生にご指導いただくことにより職員の学びの場となり良い刺激になっている。
※ワクワクアートについては、補助の職員が「ワクワクアート」活動に入り月 2 回のアート活動以外でも補助職員が数回アートの時間を行い就学に向け楽しみながら座れる時間を作る。

・令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により例年通りの行事開催は難しかったが、規模を縮小、参加人数の制限して開催することができた。特に、年長児は最終学年のため、園児、保護者を優先して行事を行う。昨年度よりも子どもたちの成長を共に感じることで有意義な時間を過ごすことができた。

2) 児童の在籍状況(KC)

区分	月 初 日 在 籍 児 童 数				
	乳 児	1 歳～2 歳児	3 歳児	4 歳以上児	計
4 月	7	37	18	39	101
5 月	9	37	18	39	103
6 月	9	37	19	39	104
7 月	9	37	19	39	104
8 月	12	37	19	39	107
9 月	11	37	19	39	106
10 月	12	37	19	39	107
11 月	12	37	19	39	107
12 月	12	37	19	39	107
1 月	12	37	19	39	107
2 月	12	37	19	39	107
3 月	12	37	19	38	106
計	129	444	226	467	1266

3) 保育園の保守管理(KC)

当園では、毎日の掃除及び定期的点検実施する。

玩具に破損部分がないか定期的に確認すると共に、乳児クラスの玩具については、毎日、電解水を使用し衛生的環境が保てるように心掛ける。

使用した玩具は、オゾン保管庫で消毒をする。

幼児クラスの玩具についても電解水を利用し定期的に清掃すると共に、園児が自分で作った雑巾を使用し水拭き掃除を行う。

新型コロナウイルス感染症のため看護師が中心となり、毎日の健康観察表の実施、外部に方が入室する際の検温モニター手指消毒の徹底など行う。

4) 消防・地震計画(KC)

地震火災が起きたことを想定しての避難訓練、引き渡し訓練、夜間訓練は勿論のこと、避難場所の確認、避難靴、非常食など、職員、そして保護者との共通理解できるよう実施した。8月には、同ビルのKDDIと一緒に合同避難訓練を行う。

訓練事項	訓練時期	備 考
非常災害訓練	月1回	夜間(夕方)訓練1回実施
引き渡し訓練	年1回	保護者への周知
消火訓練	年1回	職員参加
不審者訓練	年1回	園児含め行う
防火装置の検査	年2回	消防署へ報告(義務年1回)
その他	年1回	119番通報訓練

5) 保健衛生(KC)

病気、怪我、感染症には細心の注意を払い、感染症が流行した時には、病名を掲示板で周知すると共に、病気に負けない強い体づくりが大事だということを、全保護者へ食事、睡眠の重要性について再確認のため「ママ連メール」等で周知した。

このように、感染が拡大しないよう注意を払うことは勿論、園児たちの健康管理として年2回の内科検診、年1回の歯科検診を実施した。その他にも、尿検査を実施、職員に関しては、月1回の腸内細菌検査を実施している。看護師がクラスを巡回しての病気等の相談、子育て支援での育児相談会、怪我をした子の対応など、保育士にとって安心できる存在となる。

10月から3月までは感染性胃腸炎、インフルエンザが流行する時期のため、室内の消毒も塩素系の殺菌剤を使用し行う。設置当初から各部屋に加湿器を設置し、特に感染症が流行する冬時期には、掃除、消毒等、清潔に維持するよう心掛けた。看護師による衛生面での指導をリーダー会議で定期的に行う。

6) 各種幼児の実施状況(KC)

実施月	行事名
4月	入園式(コロナのため式中止)
5月	こどもの日の集い
6月	プール開き
7月	七夕の集い
8月	園内夏まつり・歯磨き指導

9月	引き渡し訓練・視力検査(4・5歳児) おじいちゃん・おばあちゃんへプレゼント
10月	幼児親子運動会・ハロウィンパーティー 夕涼み会(ひまわり)
11月	乳児ミニ運動会・秋まつり・筑波山登山(さくら)・第1回マラソン
12月	クリスマス生活発表会・クッキング・もちつき
1月	乳児秋まつり
2月	節分豆まきの会・バレンタインクッキング・視力検査(3歳児)・冬まつり
3月	卒園遠足(10キロウォーク)・ひなまつりの会・ありがとうの会・卒園式・入園説明

※誕生会、身体測定は毎月実施(各クラスで行う)

7) 職員の充足状況(KC)

① 定員90名 弾力運営 108名

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
定員	10名	16名	16名	16名	16名	16名

② 職員の配置基準とその配置

◇ 職員配置基準

区分	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児
配置対比	3:1	6:1	20:1	30:1

※ 園児 : 職員

◇ 国の示す職員配置基準

区分	園長	保育士	調理員	合計
配置数	1名	18名	2名	21名

③ 現員(令和5年4月1日現在)

区分	園長	主任 保育士	保育士	みなし	栄養士
配置	1名	1名	24名	3名	1名
区分	調理員	事務員	看護師	保育補助	全職員 36名
配置	4名	(1名)	1名	1名	

※ みなし=子育て支援員

※ 事務員は保育士兼務

6. 牛久みらい保育園

1) 事業内容(UM)

牛久みらい保育園は、平成25年4月1日にひたち野うしく駅西口から徒歩15分のところに開園し、下記の3事業を柱に運営している。

① 保育所運営、② 地域子育て支援拠点事業、③ 一時預かり事業

その他、保育事業として、病児保育事業(体調不良児対応型、病後児保育)延長保育促進事業も実施している。

また、受け入れ定員の弾力化により園児の追加受け入れを行い、牛久市の待機児童の解消への貢献および、委託費収入の増へつなげた。

- ・ 令和4年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため園内活動、行事も内容変更、茨城大学農業体験、保幼小連携活動等の地域との連携交流活動は中止となる。感染対策を講じながらの行事運営についてもこれまでの経験実績をもとに、より安全に開催することができ、子どもたちの成長につながる活動となった。また、運動会や発表会は2日に分けて開催することで、余裕をもった時間配分、保護者誘導ができるなど新たな発見もあり、今後の行事活動にもいかしていきたい。
- ・ 感染対策、感染情報については、行政と情報共有、指示に従い、保護者へ情報提供、園内での感染対策や登園基準等の周知を行った。陽性者が発生した際にも大きな混乱もなく、重症者が発生することなく安全な運営を行うことができた。
年間で園児29名、職員11名が感染、クラスター発生なく、罹患者も幸いに入院者、重症者なく復帰できた。
- ・ 子育て支援センター事業「としおちゃんのお家」の活動についても、行政指示に従い、事前予約制、1日の受入れ人数の制限や活動内容変更して実施。コロナ禍における地域の保護者とのつながりを深めながら地域の子育て仲間の支援を行った。
- ・ 一時預かり保育事業については問い合わせ自体も少なく、年間利用人数が39名、前年度76名より利用数で約半減となった。今後子育て支援センターの活動との連携、保護者支援につなげていきたい。
- ・ 病後児保育事業については、感染対策のため市役所保健センター利用者への事業案内ができず、新規登録14名(令和3年度:19名)にとどまり、累計831名。年間通しての利用人数は13名(令和3年度:33名)、利用者数は昨

年度より減少、コロナ禍の影響をうける結果となった。

保護者会『みらいファミリー会』についても新型コロナウイルス感染対策のため、夏まつり、ファミリー会文庫、おそうじ会等の活動を自粛とした。次年度、新型コロナの5類移行に伴い、活動再開を目指す。

2) 児童の在籍状況(UM)

区分 月	月 初 日 在 籍 児 童 数				
	乳 児	1 歳～2 歳児	3 歳児	4 歳児以上	計
4 月	9	36	16	36	97
5 月	10	36	18	36	100
6 月	13	36	18	36	103
7 月	14	36	18	36	104
8 月	14	36	18	36	104
9 月	14	36	18	36	104
10 月	14	36	18	36	104
11 月	14	35	18	36	103
12 月	15	35	18	36	104
1 月	15	35	18	36	104
2 月	15	35	18	36	104
3 月	15	35	18	36	104
計	162	427	214	432	1235

3) 保育園の保守管理(UM)

新型コロナウイルス感染症対策のために保健部が中心となり、マニュアルを作成、園児、保護者の健康観察票提出、園内でも検温モニターや手指消毒器を設置して都度保護者への周知、協力依頼を続けた。また保育室内の清掃消毒の徹底及び玩具の定期的な消毒を行っている。

4) 消防・地震計画(UM)

園内における防火管理の徹底と災害による人的、物理被害を最小限に防ぐため毎月 1 回の避難訓練を実施している。

訓練事項	訓練時期	備 考
非常災害訓練	月 1 回	地震・火災・竜巻・夜間対応・抜き打ち訓練含む
消火訓練実習	年 1 回	職員参加
消防機材の点検	年 2 回	消防署へ連絡
その他	年 4 回	119 番通報訓練 職員

5) 保健衛生(UM)

園児：嘱託内科医による内科健診(年 2 回)、嘱託歯科医による歯科健診(年 2 回)及び尿検査を実施。また看護師による歯磨き・手洗いなどの保健指導、命の大切さを学ぶマタニティ体験の実施。

職員：健康診断(年 1 回)、腸内細菌検査(毎月)を実施、また看護師による感染症対策、救急処置方法などについて研修の実施。

保護者：ほけんだよりの発行(毎月)、エントランスに設けた「ほけんコーナー」にて保育園(市内近隣)の感染症の状況などの掲示を行った。新型コロナウイルス感染症対策についても都度情報を発信して、注意喚起を行った。

6) 各種行事の実施状況(UM)

実施月	行事名
4 月	・入園式 ・こどもの日のつどい
5 月	・春まつり(保護者個人面談、おそうじ会(希望者))
6 月	・内科健診・歯科健診 ・お泊まり保育(5歳児)
7 月	・七夕のつどい ・プール開き
8 月	・夏まつり(園内にて園児のみで実施) ・プール納め ・視覚健診(4 歳児)
9 月	・スペシャルデイ(お泊まり保育の振替活動、宿泊無し、3・4歳児) ・親子うんどうかい(0・1・2歳児)
10 月	・親子うんどうかい(3・4・5歳児) ・秋まつり(園児のみ、観劇)
11 月	・筑波山登山(5歳児) ・秋のバス遠足
12 月	・クリスマス生活発表会(2日間に分けて実施)・もちつき
1 月	・内科健診
2 月	・節分豆まき ・歯科健診 ・冬まつり(保護者個人面談) ・新年度入園説明会(個別に入園前面談)
3 月	・ひなまつりの会 ・卒園遠足(大洗水族館) ・さくら組さんありがとうウィーク ・卒園式

- ※ 誕生会、映画会(幼児・乳児)、身体測定、交通安全教室は毎月実施
- ※ 4・5 歳児は専門の崎野指導員による体操指導を実施、5 歳児は高間先生による文字の書き方、絵画指導、力公先生による園外活動を定期的実施
- ※ 実習生受け入れ(年間3名)
埼玉県立大学 1名 つくば国際短期大学 1名 聖徳大学 1名

7) 職員の充足状況(UM)

① 定員 90 名 弾力運営104名

区分	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
定員	15 名	15 名	15 名	15 名	15 名	15 名	90名

② 職員の配置基準とその配置

※ 職員配置基準(園児:職員)

区分	0 歳児	1・2歳児	3 歳児	4・5歳児
配置対比	3:1	6:1	20:1	30:1

◇ 国の示す職員配置基準

区分	園長	保育士	調理員	合計
配置数	1名	13名	2名	16名

※上記配置基準は特別保育事業の加配人員は除く

③ 現員(令和5年4月 1 日現在)

区分	園長	主任保育士	保育士	看護師	栄養士
配置	1 名	1 名	22名	3名 (うち 1 名は本部所属)	1 名 (本部所属)
区分	調理員	保育補助	事務員	全職員 32名	
配置	4名	1 名	1 名		

※ 本部所属 2 名は除く

7. 柏しんとみ保育園

1) 事業内容(KT)

柏しんとみ保育園は、平成27年4月1日に開園し8年が経過する。流山市に隣接し他市からの問い合わせも多く、園見学に多くの方が来園されている。

事業は2事業を柱に運営している。

- ① 保育所の運営、② 一時預かり事業を展開し、他保育事業として延長保育促進事業も実施する。なお地域子育て支援拠点事業は隣接している為、市からは不認可だが園庭開放など近隣の子育て仲間とのコミュニケーションを図る為行っている。

◇ 保育目標(保育活動、外環境利用等)

- ・「思いやりと生きる力」を目標に保育方針である、たくさん抱きしめ、よく見つめ、しっかり耳を傾けて、沢山話しながら日々子ども達と向き合い、応答関係を大切にして興味・関心・好奇心・意欲・意志を育てている。
- ・「笑顔・挨拶・思いやり・感謝」は生きる心得として常に一人一人が心掛けており、皆が過ごしやすい園づくり・村づくりを作っている。
- ・専門の先生による音楽リズムセラピー・わくわくアート・わくわくタイム・幼児体育では、様々な経験・体験を通して五感を刺激し脳の発達に繋げ心と身体を豊かにしている。
- ・野菜や米を育てる経験をする事で、食への興味や美味しくいただくことの大切さや感謝の気持ちを学んでいる。
- ・園外保育活動では地域の公園を沢山利用している。地域の方と交流しながら、遊び方、公共の施設の使い方など様々な経験・体験を通して多くのことを身につけている。
- ・令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動内容の変更は数多くあったが、できることを考えて1つ1つ安全対策を取りながら実施していった。また、行事や普段の様子をSNSで配信し、保護者の方に園の様子をご覧いただき、子どもたちの様子を伝えていった。

◇ 地域貢献

- ・『地域交流会や子育て支援』を独自に行い、地域密着型を目指す活動及び子育ての不安を喜びに変えられるような場所になればと園内見学、園庭開放を行い、園児との関わりの中から沢山の発見とお互いの学びの場となるようにと考え努めるよう心掛けている。
- ・『公園里親活動』3, 4, 5歳児が園周辺の清掃と笹原第4公園の清掃活動を定期的に行い、きれいになる喜びや人の役に立つ経験をする。
- ・小学校接続を目的とした、小学校との交流として一年生とお手紙をやりと

りして就学に期待をもてるようにした。また一人ひとりの引継ぎも丁寧に実施する。

◇ 保護者との共同

- ・ 柏しんとみファミリー会を中心に、協力体制を強化し「生みの親・育ての親」を改めて意識し協同で出来る様、声を掛け、ねぎらいの心をもって、子ども達と共に育て合う仲間づくりとしていく。

みんなでアイデアを出し合い自己紹介カードを作成。横丁に飾り、全園児のことをより知ることができ大好評だった。また草むしりも計画していただけ、保護者・子ども達・職員共同で園庭整備を行い、子ども達にとってよい環境が整えることができた。

2) 児童の在籍状況(KT)

区分	月 初 日 在 籍 児 童 数				
	乳 児	1 歳～2 歳児	3 歳児	4 歳以上児	計
4 月	4	38	18	39	101
5 月	4	37	18	37	102
6 月	4	38	18	39	106
7 月	8	38	18	39	108
8 月	10	37	18	39	110
9 月	13	38	18	39	110
10 月	13	38	18	39	110
11 月	13	38	18	39	110
12 月	13	38	18	39	110
1 月	13	36	18	39	110
2 月	13	37	18	39	110
3 月	13	37	18	39	110
計	121	450	216	466	1253

3) 保育園の保守管理(KT)

当園は、日々の定期的な清掃及び修繕・安全点検を実施している。

また、保育室の遊具・器具(椅子やテーブル等)等の破損は事故防止のため迅速且つ周期的に点検し必要であれば修繕する体制である。

※毎週午睡時に職員当番による安全確認と月2回全体清掃日を実施。

保育室は、病気・感染症等が誘発させないよう室内の玩具消毒はもちろん

のこと布団や床・窓等の消毒もこまめに実施し清潔を維持している。
また園庭も草むしりや危険物の落下等がないかを点検し、子ども達が常に安全に過ごせるよう心掛けている。

4) 消防・地震計画(KT)

園内における防火管理の徹底と災害による人的、物理被害を最小限に防ぐため毎月1回の避難訓練を実施している。

訓練事項	訓練時期	備 考
非常災害訓練	月 1 回	時間外訓練 午睡時の訓練 竜巻発生時の訓練 抜き打ち訓練
防犯訓練	2回	抜き打ち
引渡し訓練(地震)	年 1 回	非常時に備えた訓練
防火装置の検査	年 2 回	消防署へ連絡
その他	年 1 回	119 番通報訓練 職員

5) 保健衛生(KT)

コロナ感染症対策を徹底し、職員には園内研修を通して意識の向上を図る。保護者へもママ連による情報提供、手紙の配布、園内ポスター掲示等により感染症対策の協力をお願いする。園児にも手洗い・うがい指導を実施し感染症対策を伝えていく。また病気、怪我、感染症等にかからないように予防処置と室内清掃に関して職員で意識向上させている。
熱中症対策やプール活動、SIDS 対策についても、園内研修を行い安全に保育ができるように意識向上していった。

園児： 嘱託内科医による内科健診(年1回)。嘱託歯科医による歯科検診(年1回)。身体測定(月1回)尿検査の実施。視力検査の実施。歯磨きや手洗いなどの衛生指導。急な発熱等の体調不良児の対応。ケガをした場合の病院受診。

職員： 健康診断(年1回)。腸内細菌検査(毎月)。感染症対策の研修(インフルエンザ・嘔吐下痢)

保護者： ほけんだよりの発行(月1回)。各予防接種、健診の確認。感染症流行期にはおがーるでの連絡や園内掲示にて情報を発信し保護者の方へ素早く情報を提供し、家庭でもできる範囲の感染症対策のご協力をお願いする。

6) 各種行事の実施状況(KT)

下記の表のように童心会の特徴である春夏秋冬のまつりを始め、季節の集いなど小規模・短時間等工夫して感染症対策をしながら実施していった。

月	行 事
4	入園式、こどもの日の集い
5	遠足、10キロウォーク(5歳児)
6	お泊まり保育(5歳児)、手洗い指導(3、4、5歳児)、歯科検診、内科健診
7	プール開き、七夕の集い、夏まつり、お泊り保育ごっこ(4歳児)、
8	プール納め
9	引き渡し訓練、お泊まり保育ごっこ(3歳児)
10	親子うんどう会、秋まつり、遠足
11	視力検査(5歳児)、プレマラソン
12	クリスマス生活発表会、おもちゃつき、大掃除、視力検査(4、5歳児)
1	マラソン記録会、内科健診
2	節分、視力検査(3歳児)、冬まつり、卒園遠足
3	ひなまつりの集い、入園説明会、お兄さんお姉さんありがとうの会、卒園式、入園保護者面談、

※ 毎月行事:誕生会・避難訓練・身体測定・音楽リズムセラピー・4,5歳児幼児体育・5歳児わくわくアート・5歳児わくわくタイム、表彰式、公園清掃、食育活動

7) 職員の充足状況(KT)

① 定員(90名) 弾力運営 110名

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
定員	13名	19名	19名	19名	19名	19名

② 職員の配置基準とその配置

◇ 職員配置基準

区分	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児
配置 対比	3:1	6:1	20:1	30:1

- 園児 : 職員

◇ 国の示す職員配置基準(定員数による配置基準)

区分	園長	保育士	調理員	合計
配置数	1名	19名	3名	24名

② 現員(令和5年4月1日現在)

区分	園長	主任保育士	保育士	栄養士	調理員
配置	1名	1名	21名	1名	3名
区分	看護師	みなし	事務	スーパーバイザー	全職員 34名
配置	1名	5名	(1名)	1名	

※ みなし=子育て支援員

※ 事務員はみなし兼務

8. 柏 ECEC 保育園

1) 事業内容(EC)

柏 ECEC 保育園は、平成 30 年 4 月 1 日より開園し 5 年が過ぎた。
柏駅東口の駅近くということもあり園見学に来られる方も多い。

事業は 2 事業を柱に運営している。

- ① 保育所の運営、 ② 一時預かり事業を展開し、他保育事業として延長保育促進事業も実施する。

◇保育目標(保育活動、外環境利用等)

- ・「思いやりと生きる力」を保育方針にそってよく見つけ、抱きしめ、耳を傾けて聴き、沢山話しながら日々子ども達と向き合い、「思いやりと生きる力」を基本に興味・関心・好奇心・意欲・意思を育てている。
- ・ プランター栽培で稲や野菜、花を育てる経験をし、それを用いてクッキング体験に繋げていき、食への興味や美味しくいただくことの大切さを知る。
0歳児から、様々な食材に触れる経験を取り入れ、各クラス毎月の食育活動の充実を図った。
- ・ 地域の公園を利用することは、地域の方を知る事、又道路を歩くルールを日々の積み重ねの中で、危険性を知り身についていく事や歩く体力も意識して行う。近隣の立地上、行ける公園も限られており固定遊具で身体を活用しながら遊ぶ経験も少ない為、公園までの移動は徒歩だけではなくバスでも移動をし公園での遊ぶ時間を長時間確保できるように進めていった。
- ・ 特別な支援が必要なお子さんや集団での保育が苦手なお子さんに対して、柏市子ども発達支援センターや訪問支援事業など専門機関との連携を大切にし個々の育ちに対して、集団の中において適切な支援を行った。
- ・ 外部や内部の専任講師による幼児体育・音楽リズムセラピー・わくわくアート・わくわくタイムでは、日頃の保育の中では見られない子どもの姿や成長を見ることができ、園児だけではなく、保育者も沢山の学びを得て成長できる時間となっている。また、それらを MT で共有することで、レベルを変えて他クラスでも取り組むことができ、保育の幅も広がっている。

◇地域貢献

- ・ 園見学を通して、保育園についてまた(童)について、しっかりと発信することで地域コミュニティの核となる場所があることを、伝えることができた。
地域の方の子育てに関する相談を受けることで地域の方との繋がりや、保育園

の役割を伝えていくことができた。

- ・ 一時保育の受け入れも、少しずつ増やしていき問い合わせも増えてきていたが、時期によっては感染症拡大防止の観点から受け入れできない状況もあったので次年度に積極的に繋げていく。
- ・ 保育士養成校や看護学生の実習生を積極的に受け入れ、互いに学びとなる機会を設けることで、職員にとっても刺激となった。

◇保護者との協同

- ・ EC ファミリー会運営において、協力体制を強化し「生みの親・育ての親」を改めて意識し協同出来る様、声を掛け、ねぎらいの心をもって、子どもたちを共に育て合う仲間づくりをした。ファミリー会役員さんは、「子どもファースト」という目標を掲げながら1年間活動をして下さり、親子運動会・クリスマス生活発表会の受付、ハロウィン秋まつりの運営に関わって下さった。

2) 児童の在籍状況 (EC)

区分	月 初 日 在 籍 児 童 数				
	乳 児	1 歳～2 歳児	3 歳児	4 歳以上児	計
4 月	8	30	18	33	91
5 月	8	29	18	33	90
6 月	8	29	18	33	89
7 月	8	32	18	33	90
8 月	8	33	18	34	89
9 月	9	31	18	34	89
10 月	9	33	18	34	88
11 月	9	33	18	34	91
12 月	9	33	18	34	90
1 月	9	33	18	34	90
2 月	9	33	18	34	89
3 月	9	33	18	34	87
計	103	382	216	404	1,105

3) 保育園の保守管理 (EC)

当園は、日々の定期的な清掃及び修繕・安全点検を実施している。

また、保育室の遊具・器具(椅子やテーブル等)等の破損は事故防止のため

迅速且つ周期的に点検し必要であれば修繕する体制である。
 保育室は、病気・感染症等が誘発させないよう室内の消毒はもちろんのこと
 空気清浄機を設置すると共に清潔を維持している。

4) 消防・地震計画(EC)

園内における防火管理の徹底と災害による人的、物理被害を最小限に防ぐ
 ため地震・火災・防犯の避難訓練を実施している。9月の防災週間には保
 護者の方とも年1回の確認ができるように引き渡し訓練を実施している。

訓練事項	訓練時期	備 考
非常災害訓練	月 1 回	地震・火災・午睡・夜間 抜き打ち訓練
防犯訓練	年2回	抜き打ち
引渡し訓練(地震)	年 1 回	非常時に備えた訓練
消火訓練	年 1 回	職員参加
防火装置の検査	年 2 回	消防署へ連絡
その他	年 1 回	119 番通報訓練 職員

5) 保健衛生(EC)

病気、怪我、感染症等にかからないように予防処置と室内清掃に関して職
 員一同意識向上させている。

園児： 嘱託内科医による内科健診(年2回)。嘱託歯科医による歯科検診
 (年1回)身体測定(月1回)尿検査(4、5歳児)の実施。視力検査
 の実施。歯磨きや手洗いなどの衛生指導。急な発熱等の体調不
 良児の対応。ケガした場合の病院受診。

職員： 健康診断(年1回)。腸内細菌検査(毎月)。感染症対策、インフル
 エンザ対策、熱中症対策、救急処置方法、玩具消毒(毎日)
 看護師による保健衛生の園内研修も定期的に設定し職員の意識
 の向上に繋げている。

保護者： ほけんだよりの発行(月1回)。各予防接種の確認。感染症流行時
 には、保護者へ情報発信をし、保護者の方にも感染症への意識を
 高めてもらい園児の健康な身体作りを共に行っていった。

6) 各種行事の実施状況(EC)

令和4年度は、できる限り日常に近付くよう生活をしていく中で、行事に関し
 ても積極的に開催できる方法の元、実施していった。

月	行 事
4	入園式、子どもの日の集い
5	クラス懇談会
6	さくら組10キロウォーク、内科検診、歯科検診、個人面談
7	七夕の集い、ひまわり組スペシャルディ、夏まつり、プール開き
8	プール納め
9	引き渡し訓練 おじいちゃん・おばあちゃんへプレゼント
10	運動会、秋まつり、ハロウィン、たんぽぽ組スペシャルディ
11	マラソン記録会
12	クリスマス生活発表会、大掃除
1	もちつき会
2	節分・豆まきの会、冬まつり、さくら組親子スポーツ大会
3	ひなまつりの会、入園説明会、ありがとうの会、卒園式

※ 毎月行事:誕生会・避難訓練・身体測定・幼児体育・音楽リズムセラピー
食育活動

7) 職員の充足状況(EC)

③ 定員(80名) 弾力運営 96名

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
定員	9	15	17	18	10	10

② 職員の配置基準とその配置

◇ 職員配置基準

区分	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児
配置 対比	3:1	6:1	20:1	30:1

● 園児 : 職員

◇ 国の示す職員配置基準(定員数による配置基準)

区分	園長	保育士	調理員	合計
配置数	1 名	12 名	2 名	15 名

④ 現員(令和 5 年 4 月 1 日現在)

区分	園長	主任保育士	保育士	栄養士	調理員
配置	1 名	1 名	19 名	1 名	3 名
区分	看護師	保育補助	事 務	全職員 27 名	
配置	1 名	1 名	(1)名		

※ 事務員は保育士兼務

< 以 上 >